

令和4年度事業報告書



刈り払い機の講習会（令和4年10月2日 町保健福祉センター）

(4年度重点項目のまとめ)

社会福祉法人みなかみ町社会福祉協議会は、「地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすことができる福祉の町づくりを推進すること」を使命としている。令和4年度は下記の4点を重点項目として取り組んだ。

- ① ともに生きる豊かな地域社会づくり
 - ② 安心して暮らせるまちづくり
 - ③ 支え合うまちづくり
 - ④ 元気に暮らせるまちづくり
- ① については、

町から重層的支援体制整備への移行準備事業等を受託して従来からの社協事業との連携により実施した。

みなかみ町でも令和5年度から本格的に取り組む「重層的支援体制整備事業」への移行事業となり、①属性を問わない相談支援、②参加支援、③地域づくりに向けた支援を柱として④多機関協働による支援、⑤アウトリーチ等を通じた継続的支援を新たな機能として強化し、事業を一体的に実施するものである。制度では支援ができない個人の相談に対する地域での支え合いのために、ドローン教室や、刈り払い講習会の開催などにより「社協事業への参加」を促した。

- ② については、

地域包括支援センターの受託により、高齢者の相談に応じたほか、居宅介護支援事業所、通所介護事業、訪問介護事業及び障害福祉サービス事業所の運営による支援も実施した。また「生活困窮者相談支援事業」、「日常生活自立支援事業」や生活福祉資金の相談などにより生活相談にも対応した。特に「法人後見事業」の令和5年度の実施を目指した。

- ③ については、

65歳以上の5人に1人が認知症になるとされる社会において「見守り安心サポーター」や「地域福祉協力店」などの推進をはかり、地域の方々が地域を見守り、一人ひとりが支え合う安心できるまちづくりを推進した。

- ④ については、

地域活動への参加の機会を拡げることでいつまでも元気に暮らせるまちづくりを目指した。介護予防サポーター養成講座や地域の担い手養成講座などの開催により、地域住民に対する介護予防、福祉への関心を高める事業を行った。

また、こども食堂をきっかけに始まった「〇〇(まるまる)食堂みなかみ」は、多世代交流の場、高齢者の活躍の場として多方面への事業展開が期待できる事業となった。



1. 法人運営

理事会、監査会、評議員会の開催の他、会務の運営、会費等の募集、事業継続計画の策定に取り組みました。

会議の開催内容は、下記のとおりです。

① 理事会

期 日	議 案 内 容 等
R4.6.7	(報告) 1. 会長の職務執行状況について (R4.3.1-R4.5.31) (議案) 1. 令和3年度みなかみ町社会福祉協議会事業報告及び社会福祉事業収支決算並びに公益事業収支決算の認定について 【監査報告】 2. 令和4年度みなかみ町社会福祉協議会社会福祉事業第2次補正予算及び公益事業第1次補正予算の議決について 3. 令和4年度役員等賠償責任保険契約締結について 4. 役員(理事)候補者の選任について 5. 評議員選任・解任委員の選任について 6. 評議員候補者の選定について 7. 評議員会の招集について
R4.9.16	(報告) 1. 会長の職務執行状況について (R4.6.1-R4.8.31) 2. 軽トラックの購入について 3. 第2回日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト応募申請について (議案) 1. 令和4年度みなかみ町社会福祉協議会表彰の選考について 2. 令和4年度福祉ボランティア顕彰受賞者の選考について 3. 令和4年度福祉ふれあい川柳入選者の選考について 4. 令和4年度小中高校生福祉作文・ポスターコンクール入選者の選考について
R4.12.12	(報告) 1. 会長の職務執行状況について (R4.9.1-R4.12.9) 2. 第2回日本財団未来の福祉施設建築プロジェクト応募申請について (結果) (議案) 1. 令和4年度みなかみ町社会福祉協議会第2次補正予算の議決について 2. 役員の候補者の選任について 3. 評議員候補者の選定について

R5.3.7	<p>(報告)</p> <p>1. 会長の職務執行状況について (R4.12.10-R5.2.28)</p> <p>(議案)</p> <p>1. 令和4年度みなかみ町社会福祉協議会社会福祉事業第3次補正予算の議決について</p> <p>2. 令和5年度みなかみ町社会福祉協議会事業計画案及び資金収支予算案の同意について</p> <p>3. 法人後見業務実施に伴う定款変更について</p> <p>4. 評議員会の招集について</p>
R5.3.27	<p>(決議の省略による提案)</p> <p>1. 定款変更の件</p> <p>2. 評議員会への提案の件</p>

② 評議員会

期 日	議 案 内 容 等
R4.6.24	<p>(報告)</p> <p>1. 会長の職務執行状況について (R4.4.1-R4.5.31)</p> <p>2. 令和4年度役員用賠償責任保険契約の締結について</p> <p>3. 評議員選任・解任委員会委員の選任について</p> <p>4. 評議員の選任について</p> <p>(議案)</p> <p>1. 令和3年度みなかみ町社会福祉協議会事業報告及び社会福祉事業収支決算並びに公益事業収支決算の認定について</p> <p style="text-align: center;">【監査報告】</p> <p>3. 令和4年度みなかみ町社会福祉協議会社会福祉事業第1次補正予算及び公益事業第1次補正予算の承認について</p> <p>4. 理事の選任について</p>
R4.12.27	<p>(報告)</p> <p>1. 会長の職務執行状況について (R4.9.1-R4.12.9)</p> <p>2. 第2回日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト応募申請について (結果)</p> <p>3. 評議員の選任について</p> <p>(議案)</p> <p>1. 令和4年度みなかみ町社会福祉協議会社会福祉事業第2次補正予算の承認について</p> <p>2. 役員を選任について</p>

R5. 3. 23	(報告) 1. 会長の職務執行状況について (R4. 12. 10-R5. 2. 28) (議案) 1. 令和4年度みなかみ町社会福祉協議会社会福祉事業第3次補正予算の承認について 2. 令和5年度みなかみ町社会福祉協議会事業計画案及び資金収支予算案の議決について 3. 法人後見業務の実施に伴う定款変更について
R5. 3. 28	(決議の省略による提案) 1. 定款変更の件

③ その他会議

期 日	議 案 内 容 等
監査会 R4. 5. 30	令和3年度みなかみ町社会福祉協議会事業報告及び社会福祉事業収支決算並びに公益事業収支決算監査
評議員選任・ 解任委員会 R4. 6. 10	1. みなかみ町社会福祉協議会評議員の選任について
評議員選任・ 解任委員会 R4. 12. 12	1. みなかみ町社会福祉協議会評議員の選任について

2. 生活福祉資金および高額療養費つなぎ資金貸付

低所得者、障害者世帯、高齢者世帯に対する生活福祉資金の貸し付けの新規利用はなかった。令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症拡大の影響による「特例貸付」の申請受付期間は令和4年9月末に終了となった。国民健康保険加入者に対する高額療養費のつなぎ基金貸付の相談は無かった。

令和4年度の新規貸付件数（件）

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コロナ	24	4	4	3	4	5	3	1	—	—	—	—	—

3. 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害のある方で判断能力が不十分の方々の権利擁護に資することを目的に、専門員及び生活支援員による金銭管理等日常生活の援助を行った。

◆日常生活支援員 8人

◆利用者数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
4年度末利用者数	9人	5人	4人	18人
4年度新規契約者	4人	2人	3人	9人
4年度内終了者	5人	0人	0人	5人

◆月別援助時間一覧表(単位：時間)

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
時間	165	13	11	14	11	12	15	12	13	14	14	16	20

4. 権利擁護事業

群馬県から「権利擁護人材育成事業」の補助を受けて法人後見事業の開始に向けて「法人後見に関する事業検討委員会」を弁護士、司法書士、社会福祉士の専門員をお願いして設置し、事業開始を検討した。また、事業周知のためにパンフレットを作成した。

5. 高齢者福祉事業・児童福祉事業

みなかみ町からの委託により高齢者の自立支援を目的とした事業を実施した。また、水上児童館の受託運営により、児童の放課後に安全に遊べる場所の提供をおこなった。

① 自立支援型ホームヘルプサービス事業の実施

町介護保険のサービスの認定にはならないが、日常生活に支援が必要な高齢者へのホームヘルプサービスを実施した。

◆月別利用状況一覧表（生活援助）

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	52	5	4	4	5	4	5	4	3	4	5	4	5
実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

◆月別利用状況一覧表（通院介助）

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	87	0	8	10	5	10	8	2	7	9	12	8	8
実利用者数	13	0	4	4	3	4	5	2	4	4	5	4	5

② 地域自立生活支援事業の実施

(ア) 健康教室

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見ながら、地域の公民館や会館を会場とし、健康体操を中心に認知症予防、ゲームなどを行い住民の健康の維持・改善を図ることを目的とし実施した。

内容	月夜野地区	水上地区	新治地区
開催か所	11か所	5か所	0か所
延利用者数	652人	215人	0人

(イ) 認知症カフェの運営

認知症予防のため、地域の集いの場を開催。

- 1) ふれあい交流館会場（湯原） 33回 延参加者数141人
- 2) のぞみ館会場（新巻） 35回 延参加者数114人
- 3) 「認知症カフェイベント Vol. 3」令和5年3月29日 参加者200人

(ウ) 送迎付き健康教室

介護予防が必要な高齢者の閉じこもり防止や体力の現状維持及び向上を図ることにより、介護予防への自主的な取組と自立した生活ができるよう実施する。

◆実施回数一覧表（単位：回）

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水上	24	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
新治	24	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	48	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

◆参加者数一覧表（単位：人）

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水上	221	19	19	19	18	19	14	19	19	20	18	17	20
新治	281	24	26	26	20	13	25	25	25	25	22	24	26
合計	502	43	45	45	38	32	39	44	44	45	40	41	46

③ 地域包括支援センターの受託運営

(ア) 総合相談支援事業

高齢者の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握するため相談窓口を設置し、適切な支援を迅速に行うための体制づくりを行う。

- ・相談件数 343件

(イ) 介護予防サービス支援計画事業・介護予防支援事業

事業対象者や要支援者となった人の自立に向けたケアマネジメントを行うため、保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員等を配置し、必要に応じて指定居宅介護支援事業所に委託しケアプラン作成業務を行った。

- ・配置 6名（保健師等2、社会福祉士2、主任介護支援専門員2）

(ウ) 権利擁護事業（高齢者支援ネットワーク・成年後見制度利用支援事業）

認知症高齢者に対し成年後見制度に基づき手続きを行うほか、制度の周知を行った。また高齢者の消費者被害、虐待等に対応した。

- ・消費者被害対応 1件
- ・高齢者虐待防止対応 18件
- ・成年後見相談 20件

(エ) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

個々の高齢者の状態や変化に応じた介護予防のケアマネジメントを行う必要から、地域のケアマネジャーの質の向上や抱える困難事例等に対し、必要な相談や助言、指導等の支援を行うとともに、町が抱える課題などの情報をグループワークなどにより共有し解決に向けた検討を行った。

- ・地域ケア推進会議 医療・介護・認知症部会 6回
- ・地域ケア個別会議 6回
- ・主任ケアマネ会議 6回
- ・ケアマネ連絡会議 6回

④ みなかみ町立水上児童館の管理運営

令和2年度より、みなかみ町から指定管理者に指定され、利用児童個々のペースに応じ、心身の健康の増進、情操を豊かにできる育成活動を行った。

運営状況一覧

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日	287	25	23	26	25	23	23	25	24	23	22	22	26
利用者	1067	106	62	104	84	47	96	100	110	82	86	78	112

⑤ 在宅福祉サービス事業の実施

(ア) 給食サービス事業

ひとり暮らし高齢者の孤立感解消とバランスのとれた食生活を確保するため、希望者に週1回昼食時にお弁当の宅配を行った。また実施にあたっては、配達にボランティアの協力を得た。

◆月別実利用者数（単位：人）

実利用者	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月夜野	388	32	31	32	32	32	34	34	33	33	32	30	33
水上	292	26	25	24	24	24	24	25	26	24	23	23	24
新治	242	20	19	18	21	21	20	21	21	21	20	21	19
合計	922	78	75	74	77	77	78	80	80	78	74	74	76

◆月別延べ利用者数（単位：人）

配食数	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月夜野	1557	122	119	156	128	120	157	130	127	127	118	114	139

水上	1158	96	90	113	87	111	87	95	121	89	79	88	102
新治	929	76	71	85	81	101	72	77	73	78	66	70	79
合計	3644	294	280	354	296	332	316	302	321	294	263	272	320

(イ) 高齢者等おむつ購入助成事業

在宅における高齢者の介護者負担の軽減と利便性向上のため、紙おむつの販売、購入助成を町の委託事業により実施した。

- ・延べ利用者数 3, 097人
- ・在宅要介護重度高齢者紙おむつ等支給者延べ人数 121人

⑥ 介護機器の貸し出し

在宅福祉の推進と介護者の負担軽減を図るため、介護機器の貸し出しを実施した。

◆介護機器の種類と貸出台数

種 類	貸出台数 (台)			
	月夜野地区	水上地区	新治地区	合計
介護用ベッド (手動式)	0	0	1	1
電動介護用ベッド	5	0	1	6
車いす	5	5	6	16
ポータブルトイレ	0	0	7	7
ピックアップ歩行器	0	0	2	2

⑦ ふれあい・いきいきサロン設置推進

家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者等を対象に、交流や仲間づくりの場を「ふれあい・いきいきサロン」と総称し、各地域での自主的運営による、ふれあいサロン設置の支援と事業推進をはかった。

また、今年は新型コロナウイルス感染症防止のためサロン活動の自粛等があった。

◆ふれあい・いきいきサロン一覧 (令和5年3月末現在数値)

サ ロ ン 名 称	実 施 場 所	参加者延数	実施数	活 動 内 容 等
1. こすもす会	後閑公民館	53人	11回	軽体操・レクリエーション
2. 小和知地区ふれあいサロン	小和知公民館	59人	10回	茶話会
3. いきいきつきよのサロン	月夜野会館	127人	6回	軽体操・レクリエーション
4. 布施宿いきいきサロン	遊神館	302人	14回	軽体操・レクリエーション
5. ひばり会	後閑公民館	69人	10回	軽体操・レクリエーション
6. にこにこサロン	下区集落センター	118人	10回	レクリエーション
7. あじさい会	真政公民館	126人	10回	軽体操・レクリエーション
8. サロンテラマ	寺間集会所	192人	24回	レクリエーション

9. 湯原歌う会	湯原会館	187人	17回	レクリエーション
10. サロン川上	南部生活改善センター	34人	2回	レクリエーション
11. 高日向サロン	高日向会館	0人	0回	コロナ休会①
12. サロン鹿野沢	鹿野沢会館	54人	4回	レクリエーション
13. 赤谷サロン	赤谷公民館	78人	7回	軽体操・レクリエーション
14. 猿ヶ京ふれあいサロン	猿ヶ京多目的集会場	160人	9回	軽体操・レクリエーション
15. 阿能川サロン	阿能川会館	0人	0回	コロナ休会②
16. 谷川あじさい会	谷川会館	83人	6回	軽体操・レクリエーション
17. OKB&昔	小日向会館	104人	9回	レクリエーション・軽食
18. 入恋サロン	遊神館	278人	20回	レクリエーション・食事 温泉保養
19. さろん川角	常生館	0人	0回	コロナ休会③
20. 布施いきいきサロ すみれ会	遊神館	94人	6回	元気体操・お喋り
21. 谷地いきいきサロ	谷地公民館	0人	0回	コロナ休会④
22. 今宿ふれあいいき いきサロ	今宿会館	181人	11回	軽運動・お喋り
23. ゆけむり長寿会	足湯食堂	364人	62回	ラジオ体操（45回）GG （12回）、お喋り
24. 須川ゆうゆうサロ ン	須川公民館	39人	5回	吹き矢・ゲーム
25. 新生ふれあいいき いきサロ	上羽場集会所	56人	6回	軽体操・レクリエーション
26. 柳沼サロン	柳沼集会所	133人	9回	レクリエーション
27. 上牧サロン	上牧公民館	82人	8回	手芸・おしゃべり

6. 障害児者福祉

障害福祉サービスを中心に障害者福祉の推進をはかった。

① 障害者ホームヘルプサービス事業

障害者総合支援法の障害サービス事業所として、居宅介護事業、同行援護、移動支援事業を実施した。

居宅介護・同行援護月別延べ利用者、実利用者（単位：人）

項目	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用	1779	145	130	136	147	148	147	155	154	150	142	151	174
実利用	24	23	18	20	20	21	23	22	20	21	19	22	24

② 移動支援（町からの委託事業）実利用者2人 延べ利用60回

③ 障害者デイサービス事業（基準該当生活介護・自立訓練事業）

障害者総合支援法による基準該当生活介護・自立訓練事業としてデイサービス事業を実施した。

◆月別実利用者（単位：人）

実利用者	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月夜野	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
水上	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
新治	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

◆月別延べ利用者（単位：人）

延べ利用者	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月夜野	188	16	17	18	8	14	17	17	17	15	16	14	19
水上	238	30	19	19	19	18	21	20	18	19	18	17	20
新治	158	12	13	13	13	14	16	21	12	11	11	11	11
合計	584	58	49	50	40	46	54	58	47	45	45	42	50

④ 町報朗読テープの配布

視覚障害者の方へ町報の朗読テープを配布し、視覚障害者福祉の推進をはかった。朗読には朗読奉仕ボランティアの方の協力を得た。

○利用者数 2人 ○朗読ボランティア 1人

⑤ 映画上映会への協力

みなかみ町身体障害者団体連合会の映画「梅切らぬバカ」の上映会に協力した。

令和4年12月2日 カルチャーセンター 午後の部 130人 夜の部 61人

7. ボランティア活動の推進

① ボランティアセンター設置運営

□開館相談日： 毎週 月曜～金曜日（祝祭日・年末年始を除く）

□時間帯： 午前8：30～午後5：30

○ボランティア登録・斡旋・相談・保険加入事務

ボランティア保険加入者 902人

ボランティア行事保険加入	5件（190人）
ふれあいサロン傷害補償	18件（352人）

② 介護支援ボランティアの推進

介護施設へのボランティア活動を通じて、高齢者や住民の地域貢献や社会活動奨励するとともに自らの介護予防や健康増進を推進し、より健康で生きがいのある生活を目指し平成29年7月よりボランティアポイントを付与して推進している。

- ・登録ボランティア 116人
- ・実活動人数 65人
- ・延べポイント数（100ポイント＝1時間） 148,500ポイント
- ・登録施設数 11施設
- ・ボランティア活動実績のあった施設 2施設

③ 除雪ボランティア活動の推進

登録除雪ボランティアと連携し、見守り及び除雪活動

支援のべ21件 活動者延べ88人（うちボランティア11人）

④ 収集ボランティア活動の支援

ペットボトルキャップ収集

令和4年度	2,210 kg	945,192 個
令和4年度までの累計	70,775 kg	12,881,458 個
ポリオワクチン数（累計）	12,198 人	

⑤ 地域防災への取組

みなかみ町が主催する研修会に協力した。

「令和4年度 B&G 財団防災拠点整備事業 水害・土砂災害に備える 地域防災・避難所開設研修」

令和4年12月1日 防災・避難の基礎知識講習・ワークショップ

令和4年12月10日 防災の拠点避難所 w 理解する避難所開設・運営講習／訓練

令和4年12月15日 風水害避難シュミレーションゲーム体験会・風水害24

⑥

8. 福祉教育の推進

町内小学校、中学校、高校の全校を福祉教育推進校（福祉協力校）として継続指定し、活動資金の助成と福祉教育の推進をはかった。

(ア)連絡会議の開催 令和5年3月9日 保健福祉センター

(イ)体験学習への職員の派遣

- ・令和4年 6月27日 桃野小学校4年生 福祉体験（高齢者疑似体験）
- ・令和4年10月20日 みなかみ中学校1年生 福祉講話
- ・令和4年12月21日 みなかみ中学校1年生 福祉体験（点字、車いす、ガイドヘルプ）
- ・令和5年 2月1日 新治小学校4年生 福祉体験（高齢者疑似体験）

9. 寄付金品の受入

社会福祉の推進及び福祉基金の積立を目的に寄付金品の受入を行った。

○寄付（金銭） 5件 430,000円
 その他、物品寄付等を多数いただいた。

10. 共同募金・歳末たすけあい運動の推進協力

赤い羽根共同募金事業、歳末たすけあい運動に協力し配分金を受け以下の事業を実施した。

① 一般募金配分事業

(ア) 在宅介護者リフレッシュ事業

在宅介護者へのマッサージと介護相談を実施（全12回、64人参加）

(イ) 福祉作文・ポスターコンクール（小中学校児童・生徒）

応募者数 作文の部 29点 ポスターの部 18点

② 歳末たすけあい募金配分事業

(ア) 歳末まごころ便宅配事業（令和4年12月・70歳以上のひとり暮らし世帯）

・配食数855食（月夜野345食・水上地区244食・新治地区266食）

(イ) 福祉教育推進校事業（全小中高校8校）に活動費助成

(ウ) ひとり暮らし高齢者昼食会

月夜野地区 令和5年3月8日（水） 遊神館 参加者17名

水上地区 令和5年3月10日（金） 遊神館 参加者13名

新治地区 令和5年3月6日（月） 遊神館 参加者13名

(エ) たかさご弁当（令和4年12月・85歳以上の2人暮らし高齢者世帯）

・配食数 28件（月夜野16件・水上6件・新治6件）

③ 福祉車両貸出事業

外出支援に車いすごと同乗できる福祉車両をレンタカー業者との提携で貸出補助を実施した。

◆月別利用状況一覧表（福祉車両貸出事業）（単位：件）

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
貸出	19	6	1	1	2	1	2	4	1	0	1	0	0

11. 福祉有償運送事業

要介護状態や身体の障害等により日常生活において、ひとりでの外出が困難な方を対象に実施した。 ○利用登録者数（R5/3月末）

◆月別実利用者、延べ利用者（単位：人）

項目	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用	134	31	28	34	28	29	26	25	24	29	21	22	22

延利用	674	60	57	78	61	67	58	42	47	60	49	45	50
-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

12. 生活困窮者自立相談支援事業

群馬県社会福祉協議会より委託事業として、生活上の困難を抱えた方の支援を行う相談窓口を設置した。また、令和4年7月から月に1度、ひきこもりサロンに協力。

相談支援活動集計表（延べ件数）

項目	年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電話相談	138	12	14	11	13	10	15	14	9	8	10	13	9
訪問	22	3	1	5	2	1	2	2	0	0	2	2	2
同行支援	17	2	3	0	2	2	1	1	3	2	1	0	0
面談	29	5	2	2	1	1	3	5	2	1	3	1	3
所内会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援会議	4	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0
支援調整会議 （プラン策定）	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援調整会議 （評価実施）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他会議	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
他機関との電話照会等	22	1	4	4	2	3	1	0	0	3	2	1	1
その他	46	1	1	0	1	6	5	4	4	5	6	8	4

13. 地域福祉事業

① 生活支援体制整備事業（みなかみ町委託事業）

地域生活・ネットワーク部会を3地区で開催し、地域課題の解決に向けて協議を行うほか、生活支援の拡充を図った。

（ア）買い物タクシー（かいタク）の実施

買い物が困難な方を対象に、町内のスーパーまで相乗りタクシーの運行した。

延利用者人数 138人（実利用者人数 10人）

延実施回数 69回

（イ）住民参加型福祉サービス

高齢者や障害者、子育て中の家庭など、支援を必要とする人の「ちょっとした困りごと」などに対して有償ボランティアサービスで対応した。

（ウ）担い手の育成

- ・「雪かき初心者講習会」 令和5年1月22日 社協水上支所

講師

社会福祉法人榛東村社会福祉協議会 事務局長 小野関 芳美 氏

（国土交通省・克雪体制づくりアドバイザー）

社会福祉法人片品村社会福祉協議会 係長 千明 長三 氏

（国土交通省・克雪体制づくりアドバイザー）

- ・地域づくり講座「雪かきから始まる地域づくり」 令和5年2月5日
保健福祉センター

講師

社会福祉法人榛東村社会福祉協議会 係長 高山 弘毅 氏

- ・雪かき体験 令和5年2月25日 みなかみ町藤原（平出）

講師 みなかみ町藤原 中島 修一 氏

- ・共愛学園前橋国際大学「共愛COCO」への雪かき講習

令和5年2月4日 みなかみ町藤原（平出）

講師 沼田市社会福祉協議会 係長 金子 大介 氏

(エ) ゴミ出し支援

収集場所への運搬が大変な方のごみ出し支援を行った。

実利用者人数 4人

実活動者人数 3人・1団体（利根商業高校有志）

(オ) 福祉有償運送（金融機関等への送迎）

実利用者 13人

延利用者数 18人

- ・ワンコイン事業 延利用人数 3人

② 重層的支援体制整備事業への移行準備事業（みなかみ町委託事業）

(ア) 多機関協働事業

- ・なんでも福祉相談事業
- ・社会福祉法人等連絡会
- ・成年後見制度啓発事業（法人後見準備）
- ・福祉協力店の推進・拡充 登録店舗数40店
- ・心配ごと相談・法律相談の実施

心配ごと相談には、町行政相談委員、人権擁護委員、民生委員各位があたり、法律相談には弁護士を依頼し、様々な相談に対応した。また、税理士を招いて相談員の研修会を開催した。

○開設日数 ・心配ごと相談12回 ・法律相談12回

○延相談者数 ・心配ごと相談 2人 ・法律相談 39人
研修 「相続と贈与」 令和5年1月30日 講師 税理士 片野順一 氏

(イ) 参加支援事業

- ・ふれあいいきいきサロン推進事業

1) ふれあい・いきいきサロン代表者連絡会の開催

・第1回 令和4年7月4日（月） 町保健福祉センター 27名

・第2回 令和5年3月24日（金） 町保健福祉センター 21名

2) ふれあい・いきいきサロン研修会の開催

令和4年12月19日（月） 町保健福祉センター 28名

内容：レクリエーション研修会 講師：鈴木聡子氏

3) 月夜野・水上・新治各地区で全体会を行い、交流を図る。

月夜野地区

令和4年6月2日（木） 町保健福祉センター 24名

内容：椅子ヨガ 講師：平井百合子氏

介護保険サービスの説明 講師：町包括支援センター職員

水上地区

令和4年11月17日（木） 町保健福祉センター 20名

内容：絵手紙教室 講師：金子礼子氏

新治地区

令和4年9月6日（火） 町福祉センター 25名

内容：介護保険サービスの説明 講師：町包括支援センター職員

4) 県社協主催 ふれあい・いきいきサロン推進連絡会等

・第1回群馬県ふれあい・いきいきサロン推進連絡会

令和4年5月30日（月） Zoom開催 会長・担当出席

・第2回群馬県ふれあい・いきいきサロン推進連絡会

令和5年2月27日（月） Zoom開催 会長・担当出席

5) 各団体等の運営事務

老人クラブ（町・支部）、母子会、身体障害者福祉協会、更生保護女性会、遺族会、共同募金会等の団体の運営事務を行った。

6) ・地域住民の福祉ボランティア活動の普及を目的に下記の事業を行った。

・ボランティアセンターの運営

・ボランティア派遣の活性化

・ボランティアコーディネーターの配置及び相談事業

・ボランティアの啓発・普及・登録・紹介事業の充実

・視覚障害者用町報朗読テープの配布

7) 学びの教室・研修会

A) スマホ教室（初心者向け）

移住支援をしている社団法人FLAPやIターンの人と協働し、高齢者向けライン初心者教室を開催した

第1回 4月20日・22日・26日 参加実人数5人 延人数9人

第2回 8月25日・9月5日・12日 参加実人数10人 延人数22人

第3回 1月16日・23日・30日 参加者実人数9人 延人数26人

B) 小中学生向けドローン教室 令和4年11月23日 参加7人

C) ひきこもり支援研修会

ひきこもりサポーター養成講座（県社協主催）

令和4年11月4日（金）・14日（金）・29日（火）

県社会福祉総合センター、ボランティア1名参加

D) 居場所づくり事業

日中の居場所が自宅以外にない人向けの「マッサージの会」を開催した

令和5年2月28日（火） 町カルチャーセンター

参加者 10名

E) 地域の担い手養成研修会 令和5年3月24日 猿ヶ京温泉

講演「みんなが主役のまちづくり」 三遊亭らん丈 氏

F) 社会福祉法人等連絡会と協働した「企業説明会」の開催

令和4年8月22日 高校生向けに開催 来場者3人

令和4年10月20日 一般向けに開催 来場者17人

令和5年3月7日 高校生向けに開催 来場者42人

(ウ) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

1) 友愛訪問事業

民生委員、地区の協力員により1人暮らし高齢者の見守りを実施した(7人)

2) 訪問活動事業(ニーズを抱える住民の発掘)

・行政と一緒に「公的サービスを利用していない方への調査」を行った。

対象：町内在住の64歳以下で、障害手帳(身体障害1・2級(上肢、下肢、体幹機能障害)、知的障害A・B、精神障害1級)を所持しているが公的サービスを利用していない人(入院・入所を除く)

アンケート発送人数：58人

聞き取り方法内訳：面談13人(うち訪問7人)、電話21人、手紙による回答のみ6人、回答なし18人

3) 行政の相談員と協力し、民生委員や介護支援相談員から相談のあった心配事を抱える家庭への電話連絡や訪問等を行った。

③ 福祉事務所未設置町村による相談事業(みなかみ町委託事業)

(ア) 相談窓口の設置 相談窓口を設置した。相談件数 38件

(イ) 講演会の開催 ゲートキーパー講演会 令和4年11月28日 保健福祉センター

講師 特定非営利活動法人 日本ゲートキーパー協会理事長

株式会社ラポール企画 代表取締役 大小原利信 氏

演題 「ゲートキーパー入門 味方になりきるコミュニケーション講座」

参加者 11人

(ウ) オンライン相談の構築 見やすいホームページによるオンライン相談の構築をした。

(エ) フードバンク事業 町民、企業から寄付をいただき、生活困窮者等に適時配布した(利用者 60人)。また保管場所として旧朝日食堂の一部を借用した。

④ 生活困窮者支援等のための地域づくり事業

(ア) 福祉アンケートの実施 町民1,000人対象に実施

(イ) 居場所づくり わら細工の家を居場所としての活用を図った。

(ウ) 福祉ふれあいフェスティバルの開催

・第16回福祉ふれあいフェスティバル(式典のみ実施)

令和4年10月16日(日) みなかみ町保健福祉センター

○介護功労者表彰 矢島百合子(上津)

○感謝 スーパーはやしや(布施) 富庸会(後閑)

櫛淵とも子(下津) 月夜野ライオンズクラブ(後閑)

見城美恵子(布施) 心彰流猿ヶ京吟詠会(猿ヶ京)

(株)アイチコーポレーション(東峰)

○福祉ボランティア顕彰 関トシ江(布施) 綿貫はる子(小仁田)

並木茂(谷川) 高橋啓文(上津)

○福祉ふれあい川柳入選

最優秀 藤田俊彦(石倉) 「百歳を 目指し傘寿の スクワット」

優秀 阿部長光(上牧) 「施設から 家族を思う コロナ風」

- 優良 高橋初代（新 巻） 「子育てに 笑顔の福祉 見守り隊」
- 優良 石坂作次（鹿野沢） 「祭りの灯 消えて進むや 高齢化」
- 優良 原澤君子（月夜野） 「電話ぐち 元気な声で ひと安心」
- 優良 増田知子（ 師 ） 「逢いたくて 今日も無事に 生きている」

○小中学生福祉作文ポスターコンクール入選者表彰

- | | | | |
|-------------|----|---------------|----|
| 作文 小学生低学年の部 | 4人 | ポスター 小学生低学年の部 | 3人 |
| 小学生高学年の部 | 4人 | 小学生高学年の部 | 6人 |
| 中学生の部 | 人 | 中学生の部 | 4人 |

- ・認知症カフェイベントと共催で福祉ふれあいフェスティバル（番外編）を開催
認知症に関する講演やVR体験、地域のキッチンカーの出店、軽体操などで
交流を図る。また、啓発グッズを作成して活動をアピール。

(エ) 社会参加支援

- 「刈り払い機講習会」 令和4年10月2日 保健福祉センター
- 地域食堂試行事業 令和5年3月27日 町内の学童クラブにカレーを配布

14. 啓発・その他

① 広報紙の発行

社協広報紙「ひだまり」の全戸配布 年4回（5月・8月・11月・2月）

② ホームページの活用による啓発

15. 介護保険事業関係

介護保険法指定事業者として【居宅介護支援事業】・【訪問介護事業】・【通所介護事業】を実施した。

【居宅介護支援事業】

介護保険法指定事業者として、在宅の要介護者が介護保険から給付される居宅サービス等を適切に利用できるよう、要介護者の依頼を受けて利用する介護サービスの種類・内容を定めた居宅サービス計画の作成、居宅サービス事業者等との連絡調整などを実施した ほか、介護保険認定に係る調査を受託実施した。

- 介護認定者延べ利用者数 3,760人（前年比 100%）
- 予防支援等延べ利用者数 573人（前年比 81%）
- 認定調査件数 1件（前年比 28件減）

*別紙1、別紙1-1参照

【訪問介護事業】（ホームヘルパー派遣）

介護保険指定事業者として、訪問介護員（ホームヘルパー）により、要支援者・要介護者等の心身の特性を踏まえて、要支援者、要介護者が可能な限りその居宅において、安心して自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介助・通院介助等その他の生活全般にわたる必要な支援を行った。

- 利用者数（累計） 1,634人（前年比 98%）

○延べ利用日数（累計） 12,205日（前年比 84%）

*別紙2参照

【通所介護事業】（デイサービス）

介護保険事業者として、要支援者、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、デイサービスセンターにおいて必要な日常生活の世話及び入浴・食事の提供等介護サービスを提供した。

○延べ利用者数 20,689人（前年比 88%）

○定員に対する年間利用稼働率

名 称	稼 働 率
デイサービスセンターほたるの苑	55.6%
水上デイサービスセンター	65.4%
新治ふれあいセンター	76.6%
全 体	66.4%

*別紙3、別紙3-1、別紙3-2参照

16. 障害福祉サービス事業所ぴっころ就労継続B型事業所の運営

所在地 みなかみ町月夜野 644-2
 事業開始日 平成29年10月1日
 入所定員 20人
 専任指導員 5人（常勤換算）
 敷地面積 2,562.83㎡
 建物面積 352.99㎡
 通所者の現況 18人（令和5年3月31日現在）

通所者の現況内訳						
男女別	男10人	女8人				
地区別	月夜野 10人	水上1人	新治6人	沼田1人		
年代別	10代0人	20代7人	30代5人	40代4人	50代2人	60代0人
障害種別	知的17人	身体1人				

通所手段 自主通所（徒歩・自転車・バス・家族送迎）又は施設送迎

開所日・時間 月曜日～金曜日午前9時～午後4時（但し：12月～3月 午後3時）

休所日 土曜日・日曜日・国民の祝日
 夏季休暇 8月13～16日 年末年始12月29日～1月3日
 他、休日販売等行った場合には月曜日等を振替休所とした。

作業内容 受託作業…NTT公衆電話室清掃・町有墓地及びトイレ清掃
 月夜野きのこ園・丸久物産・他、内職・作業請負

年間行事 自主商品製作・販売…パン・木工品・和紙工芸品・縫製品・菓子等
新型コロナウイルス感染防止のため中止

(開所日数) 241日
(延べ通所人数) 4,332人
(年間総売上) 10,938,810円
(配分金支払い) 4,536,745円(1人月平均19,898円)

17. 子どもの生活・学習支援事業

- ・開催日数 44日(原則毎週土曜日)
- ・登録人数 15人
(中学1年7人、中学2年6人、中学3年2人)
- ・延べ参加生徒数150人 高校入学者2人
- ・支援体制(1回あたり) 支援員1名、大学生2~3人
- ・支援対象者 町内居住、生活保護受給世帯、就学援助制度の準要保護世帯、児童扶養手当受給世帯、県が必要と認める世帯の小学生及び中学生。受入体制等に応じて高校生も対象とする。
- ・支援内容
 - 1) 生徒に対する居場所の提供
日常生活習慣の形成、社会性の育成、子どもが安心して通える場所の提供
 - 2) 生徒に対する学習支援
高校受験のための進学支援や、学校の勉強の補習、宿題の習慣づけ
 - 3) ICTを操作・活用するための能力の向上を図るため、年4回以上ICTスキルの向上に資する学習機会を提供
高校受験のための進学支援や、学校の勉強の補習、宿題の習慣づけ
 - 4) その他、群馬県が認める生徒等の生活習慣・学習習慣の確立や学習意欲の向上に資する支援